下は公園の遊具です。



今号は特集と致したまして、台東区根岸の誰でもトイレをご紹介させていただいています。根岸は上野の山の北の陰に位置し、西はJR山手線、北は荒川区東日暮里・南千住。東は台東区三ノ輪・竜泉・下谷の三地域に囲まれた三角形の町域を持っています、関東大震災や第二次世界大戦で罹災しなかった市街地も含まれ、昔からの町並み・建物が残っている場所もあるそうです。町名の根岸は、「上野

根岸と言えば、あの昭和の爆笑王と言われた、初代林家三平（1924年～1980年）の自宅がありました。今現在その建物を「三平堂」として開放しています。



初代林家三平と言えば、昭和の爆笑王として一世を風靡した落語家です。初代林家三平は、昭和30年代からテレビやラジオで人気者。寄せ番組でも独特な芸風は常に三平さんご自身の、ち密な計算で作ったそうです。

（右上の写真は初代林家三平です。）

そんな三平さんは、父親の高座名の林家正蔵を継ぎたかったそうですが、願い叶わず、56年の生涯を閉じてしまいました。しかしその願いは、九代目林家正蔵として、三平さんの長男が継ぎ、ご自身の高座名三平は、次男へと引き継がれました。



昔っから私は落語が好きでした。 私の好きな古典落語に「藪入り（やぶいり）」という作品があります。（藪入りとは一日だけ奉公先から休暇をもらえること。夏は旧暦のお盆にあたる七月十五日。冬は旧暦の小正月にあたる一月十五日）内容としては7つで奉公に出した息子が奉公先から、冬の藪入りで帰って来た息子。確か5年ぶりだったと思うのですが、両親に歓迎され、「ご飯の前に銭湯へ行ってさっぱりしてこい」と言われ、銭湯へ向かいました。気持ちよく息子を銭湯へ送り出し